

公益社団法人全国産業資源循環連合会

第 65 回理事会議事録

令和 5 年 3 月 14 日（火）午後 2 時、当連合会会議室（東京都港区六本木 3-1-17）において、第 65 回理事会を web 会議により開催した。上記の開催場所に存しない理事及び監事は、Web 会議システムを用いて本理事会に出席した。

理事現在数 25 名、定足数 13 名

出席理事数 23 名

出席理事 永井 良一、鈴木 昇、杉田 昭義、橘 正則、井上 吉一、片渕 昭人、大塚 雅司、松本 英高、篠原 隆博、室石 泰弘、山岡 緑三郎、菊池 清二、藤枝 慎治、木下 茂、田端 俊三、三谷 哲也、野原 雅浩、永田 雄一、古矢 満、東浦 知哉、伊丹 重貴、藏本 悟、海野 泰兵

出席監事 時田 茂、谷崎 晃、芝田 麻里

以上のとおり理事及び監事の出席があったので、定款第 43 条の規定により会長（代表理事）永井良一が議長に就任し、本理事会は適法に成立したので開会する旨を宣した。

1. 決議事項

第 1 号議案 令和 5 年度（2023 年度）事業計画及び収支予算の決定について

議長の指名により、室石専務理事が資料 1 に基づき、令和 5 年度（2023 年度）の事業計画案及び収支予算案の概要を説明した。

このうち、事業計画案については、前回の理事会で承認された事業計画骨子案に沿った内容であることを説明した。

次に収支予算案は、まず値上げ後の紙マニフェストの譲渡数が、値上げ前の駆け込み需要を経て堅調に推移していることを報告し、令和 5 年度においても値上げによる一定の収支改善効果が見込まれると予測。令和 5 年度適正処理推進事業活動支援金については引き続き令和 4 年度と同様の取扱いをお願いするとともに、一層の経費削減にも務めることで、ほぼ収支均衡の予算案となったことを説明した。

以上の議案の説明の後、議長が議案の承認を求めたところ、満場異議なくこれを

承認した。

第 2 号議案 令和 4 年度産業廃棄物適正処理推進センター基金への出損の決定について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 2 に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物適正処理センター基金への出損額を 430 万円とすることの承認を求めた。

議長がその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

第 3 号議案 適正処理推進事業活動支援金の交付について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 3 に基づき、令和 5 年度の適正処理等活動支援金については、現下の財政状況に鑑み、引き続き交付しないこととしたい旨の案を説明した。

以上の議案の説明の後、議長が議案の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

なお、令和 6 年度における本支援金の扱いは、令和 6 年 3 月理事会で決定する。

第 4 号議案 部会運営委員の選任（交替）について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 4 に基づき、収集運搬部会運営委員会委員案を説明した。

以上の議案の説明の後、議長が議案の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

第 5 号議案 令和 5 年度表彰選考委員会委員の委嘱について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 5 に基づき、令和 5 年度の表彰先行委員会委員案を説明した。

以上の議案の説明の後、議長が議案の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

第 6 号議案 D X E 株式会社の賛助会員としての加入の承認について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 6 に基づき、D X E 株式会社より賛助会員の入会申請があったことを説明した。

以上の議案について議長が承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認した。

以上の協議を終了した後、永井会長が各監事に意見を求めた。時田監事からは公益法人の財務三基準（収支相償・公益目的事業比率・遊休財産額保有制限）の遵守状況に関する確認について、谷崎監事からは適正処理推進事業活動支援金の交付を再開する場合の考え方の明確化について、それぞれ意見が出された。芝田監事から

は、特段の意見は出されなかった。

2. 報告事項

① 令和5年度安全衛生事業方針について

議長の指名により、戒能事業部・調査部特任主幹が資料7に基づき、令和5年度安全衛生事業方針の概要を報告した。また、三谷理事（安全衛生委員会委員長）が、本日午前中に行った厚生労働省との意見交換の内容を報告するとともに、労働災害の撲滅に向けて安全衛生事業への理解と協力を呼びかけた。

② 令和5年度における人材育成事業（技能実習生）について

議長の指名により、室石専務理事が資料8に基づき、外国人技能実習制度の導入に向けた環境省及び厚生労働省との協議の経過を報告した。

③ 令和4年度下半期の職務執行状況について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び本会定款、理事会運営規則の規定に基づき、永井会長及び室石専務理事が本年度下半期における職務の執行状況について次のとおり報告した。

- ・連合会の業務改善の観点から、令和4年度に実施を予定している事業について、引き続き全体にわたって点検を行うこと、特に事業内容あるいは費用対効果や収支の全体を考慮した執行の優先度について検討した。
- ・会議関係では、各地域協議会に出席し、当連合会の現在の取り組み等について報告した。また、協会の設立等の周年記念式典、青年部協議会のカンファレンスや女性部協議会設立総会に出席したほか、連合会の新年賀詞交歓会を3年ぶりに開催することを決定した。
- ・下半期における当連合会の業務の執行状況は資料9のとおりである。

④ 全国女性部協議会の活動報告について

議長の指名により、吉田参与が資料10に基づき、昨年11月18日に開催された「第1回全国女性部会のつどい」の概要を報告した。

⑤ 第13回定時総会の開催概要について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料11に基づき、本年6月16日午後3時から、明治記念館（東京都港区元赤坂）で開催する予定の第13回定時総会の開催概要を説明した。

⑥ 次回理事会その他の日程について

議長の指名により、山口事務局長兼総務部長が資料 12 の年間行事予定表を報告した。

⑦ その他

山口事務局長兼総務部長が資料 13 から資料 16 の配付資料を紹介した。

3. その他

永井会長より次の発言及び提案があり、その提案については理事会で了解された。

① 現在、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）において、電子manifestoの入力必須項目を追加する検討がなされている。この入力必須項目の追加は、本業界に深く関わりのある内容であるため、manifesto推進委員会（委員長：鈴木昇理事）で課題として取り上げていただき、その議論の結果を理事会に報告してもらいたい。なお、委員会においては、JWセンター関係の課題に対する意見のみにとどまらず、紙manifestoの値上げの影響など、manifesto全般についての幅広い議論をお願いしたい。

② 九州地域協議会から3月1日付で、優良認定制度に関する要望書（別添資料）が連合会に提出された（ここで九州地域協議会会長の篠原隆博理事が、要望書の要旨を説明）。この要望書の取扱いについては、連合会会長である永井の書面を添えて環境省に提出することとしたい。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後3時30分に閉会した。

以上の議事の内容を明確にするため、この議事録を作成し、出席した代表理事及び監事がこれに記名押印する。

令和5年3月14日

公益社団法人全国産業資源循環連合会理事会

代表理事 永井 良一



監 事 時田 茂



監 事 谷崎 晃



監 事 芝田 麻里



